

---

# 全国高等専門学校

## 第28回プログラミングコンテスト

### 本選実施要項(参加要項)

---

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門ともに9月1日(金)締切及び9月27日(水)締切で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校 第28回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第 28 回プログラミングコンテスト  
本選実施要項(参加要項)

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)	1
1.1 主催・共催・後援・協賛・役員	1
1.2 参加者	2
1.3 審査委員	2
1.4 会場案内	3
1.5 日程	4
1.6 提出書類等	5
[1] 9月1日(金)締切分	5
[2] 9月27日(水)締切分	6
1.7 知的財産権の侵害について	7
1.8 著作物等の扱いについて	7
1.9 表彰について	7
1.10 宿泊・昼食・情報交換会及び会場への交通	8
1.11 学生交流企画について	9
1.12 会場使用上の注意点について	9
1.13 その他の注意事項	9
1.14 問い合わせ先	9
2. 課題・自由部門についての連絡事項	10
2.1 システムの搬入・搬出について	10
2.2 プレゼンテーションについて	10
2.3 デモンストレーションについて	11
2.4 本選審査手順について	13
3. 競技部門についての連絡事項	14
3.1 組み合わせ	14
3.2 競技進行の概要	14
3.3 競技部門の賞	14
3.4 予行演習	14
3.5 機材の搬送について	14
3.6 注意事項	14
付録 1 会場案内図	
付録 2 交通案内	
付録 3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録 4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録 5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法	
付録 6 デモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブル	
付録 7 競技組み合わせ	
別紙資料 1 同意書	
別紙資料 2 課題・自由部門 パンフレット執筆要項	
別紙資料 3 課題・自由部門 システム等の調書	
別紙資料 4 課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例	
別紙資料 5 課題・自由部門 操作マニュアル表紙例	
別紙資料 6 課題・自由部門 チェックリスト	
別紙資料 7 競技部門 パンフレット執筆要項	
別紙資料 8 競技部門 システム等の調書	
別紙資料 9 競技部門 プログラムソースリスト表紙例	
別紙資料 10 競技部門 システム詳細説明書	
別紙資料 11 競技部門 チェックリスト	
別紙資料 12 梱包識別票	

# 1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)

## 1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)

後 援 文部科学省, 総務省, 経済産業省, 警察庁, 山口県, 山口県教育委員会, 周南市, 周防大島町, 周南市教育委員会, 周防大島町教育委員会, 公益財団法人日本教育公務員弘済会山口支部, 徳山商工会議所, 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会, 一般社団法人情報処理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 一般社団法人教育システム情報学会, 国立研究開発法人情報通信研究機構, 一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構, 株式会社 BCN, NHK, KRY 山口放送, tys テレビ山口, yab 山口朝日放送, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 産経新聞社, 中国新聞社, 山口新聞社, 日刊工業新聞社, 大島商船高等専門学校奨学後援会, 大島商船高等専門学校同窓会

産学連携協賛 (5社) 東芝デジタルソリューションズ(株)・東芝 IT サービス(株), チームラボ(株), (株)セゾン情報システムズ, (株) DMM.com ラボ, (株)日立製作所

特別協賛 (12社) 富士通(株), (株)トヨタコミュニケーションシステム, (株)ブロードリーフ, (株)インテリジェント ウェイブ, さくらインターネット(株), ネクストウェア(株), (株)シーエーシー, ウェルネット(株), (株)FIXER, (株)Blueship, アドバンスドプランニング(株), (株)フィックスターズ

一般協賛 (27社) セイコーエプソン(株), (株)BCN・特定非営利活動法人 IT ジュニア育成交流協会, アイフオーコム(株), (株)ワコム, ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株), (株)フォーラムエイト, 富士ソフト(株), (株)ルクレ, アイ・システム(株), (株)エヌ・ティ・ティ エムイー (NTT-ME), メディア総研(株), オープンテクノロジー(株), (株)タイムインターメディア, ナレッジスイート(株), 日本マイクロソフト(株), (株)Preferred Networks, (株)アカツキ, NCS&A(株), (株)OEC, シーエヌシー(株), (株)タブチ, TDC ソフトウェアエンジニアリング(株), ドコモ・システムズ(株), ファスフォードテクノロジー(株), (株)メンバーズ, ヤフー(株), (株)ワイズ

### 大会役員

大会会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長  
前 野 一 夫 (木更津工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長  
山 崎 聡 一 (神戸市立工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長  
小 島 知 博 (サレジオ工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長  
新 田 保 次 (鈴鹿工業高等専門学校長)

副会長 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会理事長  
堀 内 征 治 (長野工業高等専門学校名誉教授)

副会長 第29回大会主管校校長  
寺 沢 計 二 (阿南工業高等専門学校長)

副会長 第28回大会主管校校長  
石 田 廣 史 (大島商船高等専門学校長)

## 1.2 参加者

予選において全国高専から選抜された作品の制作学生及び指導教員

- (1) 課題部門 20 チーム
- (2) 自由部門 20 チーム
- (3) 競技部門 59 チーム

NAPROCK 国際プログラミングコンテストに参加する海外チーム及び大学生チーム

- (1) 海外チーム 6ヶ国 6 チーム
  - ・競技部門：ハノイ国家大学工科大学(ベトナム)
  - ・競技部門：モンゴル科学技術大学(モンゴル)
  - ・競技部門：ペトロナス工科大学 (マレーシア：都城高専招聘)
  - ・競技部門：香港 VTC (中国：東京高専招聘)
  - ・自由部門：シンガポールポリテクニク (シンガポール：鳥羽商船招聘)
  - ・自由部門：キングモンクット工科大学ラカバン校 (タイ：久留米高専招聘)
- (2) 大学生チーム 1 大学 1 チーム
  - ・競技部門：豊橋技術科学大学

## 1.3 審査委員

審査委員長

神沼 靖子 一般社団法人 情報処理学会 フェロー

審査委員

石垣 国典 ネクストウェア(株) 取締役執行役員 社長室室長  
泉 泰一郎 東芝デジタルソリューションズ(株) ICT インフラサービスセンター 参事  
稲見 昌彦 東京大学先端科学技術センター 教授  
井場 辰彦 (株) シーエーシー SP  
今井 一範 アドバンスドプランニング (株) 代表取締役  
臼井 支朗 豊橋技術科学大学 名誉教授 理研・脳科学総合研究センター研究嘱託  
梅村 恭司 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授  
及川 光隆 (株) Blueship IT サービス統括部 部長代理  
大岩 元 慶應義塾大学 名誉教授  
尾澤 勉 NHK 放送センター 放送技術局 メディア技術センター  
クロスメディア部 部長  
小野 和俊 (株) セゾン情報システムズ 常務取締役 CTO  
斎藤 浩 (株) 日立製作所 統括本部長  
笹岡賢二郎 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 専務理事  
城倉 和孝 (株) DMM.com ラボ 取締役 兼 CTO  
杉田 泰則 長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 准教授  
谷口雄一郎 (株) ブロードリーフ 開発本部基盤開発部 棟梁  
田村 哲也 チームラボ (株) 取締役  
中原 広樹 (株) トヨタコミュニケーションシステム ファイナンスシステム本部 FS2 部部長  
林 直樹 富士通 (株) 文教システム事業本部 VP  
松岡 清一 (株) FIXER 代表取締役社長  
松澤 照男 北陸先端科学技術大学院大学 理事・副学長  
宮地 力 東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻 石川・渡辺研究室特任研究員  
山本 祥之 株式会社インテリジェント ウェイブ 特別顧問  
吉田 育代 フリーランスライター  
鷺北 賢 さくらインターネット (株) さくらインターネット研究所 所長

[マニュアル審査]

久保 慎一 ネクストウェア(株)

津曲 潮 (株)デザイン・クリエイション 顧問

(五十音順 敬称略)

## 1.4 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図または公式サイトをご覧ください。

1. 開会式・閉会式会場	大ホール
2. 課題部門プレゼン会場	地下 練習室1
3. 自由部門プレゼン会場	地下 地下展示室
4. 課題部門・自由部門デモ会場	3階 展示室
5. 競技部門会場	大ホール
6. プロコン委員控室	地下 楽屋1・2
7. 審査委員控室	地下 リハーサル室
8. 審査室	地下 リハーサル室・練習室1・地下展示室
9. 競技部門関係者控室	地下 楽屋5
10. 参加学生荷物置き場	3階 大ホール 客席
11. 競技部門控室	1階 大ホール 客席
12. 海外チーム控室	3階 和室
13. 主管校大会本部	地下 楽屋4・1階 エントランスホール
14. 報道関係者控室	地下 楽屋3
15. 来賓控室1	地下 講師控室
16. 来賓控室2	地下 練習室3
17. 来賓控室3	2階 応接室
18. 主管校学生教職員控室	なし
19. 協賛後援控室	地下 練習室2
20. 企業展示会場	3階 ロビー
21. 主管校企画 (体験教室・キーホルダー作成)	1階 大ホールロビー
22. 学生交流会	大ホール(1日目夕方)
23. 総合受付	1階 エントランスホール
24. 昼食配布場所	1階 大ホール入口
25. 救護室	3階 和室
26. デモ用梱包物置き場	2階 大ホール 客席

## 1.5 日程

10月7日(土) 参加者受付

17:00～19:00 周南市文化会館 エントランスホールで受付を行います。

(受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。)

※ 各チームの引率教員および代表学生1名が受付し、名札、配付資料を受領してください。

10月8日(日)

- やむを得ず当日受付を希望するチームは、プロコン委員会事務局(「1.14 問い合わせ先」参照)に事前にご連絡ください。

	課題・自由部門	競技部門
8:00	(会館開場予定時刻 8:00)	
9:00	8:15～ 8:25 参加者連絡会議 (3階展示室) 8:30～ 9:15 システム搬入チェック	8:30～ 8:50 参加者連絡会議 (大ホール)
	9:30～10:00 開会式 (大ホール)	
10:00	10:10～16:50 プレゼンテーション審査 (課題部門: 練習室1) (自由部門: 地下展示室 )	10:10～13:00 予行演習 (大ホール)
11:00		
12:00	10:10～10:40 システムセッティング (3階展示室)  10:40～16:50 デモンストレーション 一般公開 (3階展示室)	
13:00		
14:00		14:00～16:50 1回戦 (大ホール)
15:00		
16:00		
17:00	17:00～18:30 学生交流会 (大ホール)	
18:00	18:30～20:30 情報交換会(遠石会館)	

10月9日(月)

	課題・自由部門	競技部門
8:00		
9:00	8:05～ 8:15 参加者連絡会議 (3階展示室)	8:05～ 8:20 参加者連絡会議 (大ホール)
10:00	8:15～ 8:45 システムセッティング	
11:00	8:45～12:00 デモンストレーション審査・ マニュアル審査	8:30～14:00 敗者復活戦
12:00	9:00～14:00 デモンストレーション 一般公開 (3階展示室)	準決勝 決勝 (大ホール)
13:00		
14:00	14:00～14:30 システム梱包・業者引き渡し	
	14:30～15:00 特別講演会(大ホール)	
15:00	15:10～16:30 閉会式(大ホール)	

## 1.6 提出書類等

### [1] 9月1日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、平成29年8月25日(金)から9月1日(金)までの期間に、公式サイトの上オンライン受付システムから提出してください。各書類の提出に当たっては、チェックリストにより内容を確認し、不備のないようにしてください。

#### (1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配付するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項及び見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。図や写真については、カラーで印刷されますので効果的に使用してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願ひします。なお、PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

#### (2) システム等の調書

システム等の調書は公式サイトからファイル(.docx形式)をダウンロードして記入してください。特に、課題・自由部門の参加者は、会場の設営に必要な情報ですので、表中の「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。デモンストレーション会場においては、必要に応じてインターネット接続環境を準備します。また、競技部門ではシステム等の調書に記載されていない機材は、競技部門会場への持ち込みを制限することもあります。詳細については公式サイトでお知らせします。

[2] 9月27日(水)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の資料を、平成29年9月20日(水)から9月27日(水)までの期間に、オンライン受付システム上から提出してください。

規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締切後の書類の差替えなどは認めません。

【各部門共通】

(1) 著作物等の扱いに係わる同意書(各チーム1通)

- 「1.8 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとにPDF形式で提出してください。
- 同意書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員及び学生全員が署名し提出してください。

(2) 緊急連絡先の登録

- オンライン受付システムの入力フォームに従って、引率教員と学生1名(代表学生)の連絡先(携帯電話の番号等)、宿泊先などをご記入ください。
- この書類は第28回大会の緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

(3) チーム紹介動画の登録

- チームメンバーを紹介する15秒前後の動画を提出していただきます。
- 本動画ファイルは会場からのライブ配信等に使用するもので、審査結果には影響しません。各チームの特徴などをアピールしてください。
- 撮影後にPremiereやFinal Cut等で編集していただいても構いません。
- 時間を超過する場合や不適切な表現が含まれる場合等、再提出を依頼することがあります。
- 解像度は640×480ピクセル以上、1920×1080ピクセル以内。
- 動画コーデックはH.264ビデオかMPEG-4ビデオのいずれか。
- コンテナファイルの拡張子は\*.m4v, \*.mp4, \*.mov, \*.mpg, \*.wmvのいずれか。
- ファイルサイズは100MB以内とします。
- 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS付属のソフト(Windows 10なら「映画&テレビ」アプリ、Windows 7/8.1なら「Windows Media Player」アプリ、macOSなら「QuickTime Player」)で再生できることを確認のうえ提出してください。

【課題・自由部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 公式サイトから指定の表紙をダウンロードし、必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルを直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) 操作マニュアル

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、表紙を含め12ページ以内で作成してください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。



## 【競技部門】

### (1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 提出されたPDFファイルを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

### (2) システム詳細説明書

- システム詳細説明書は競技部門の審査に使用します。
- 様式に従いA4用紙1ページとし、PDFに変換したものを提出してください。
- 公式サイトから所定の様式をダウンロードし、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、高専名を記入してください。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴などが審査委員にわかるように記述してください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

## 1.7 知的財産権の侵害について

作品の制作及び発表にあたっては、知的財産権の侵害のないように十分にご注意ください。従来の例では、

- キャラクタの無断利用
- 音楽・映像の無断利用
- 文献等からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は、知的財産権についての理解が不十分なことも多いと思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

## 1.8 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・映像等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類(作品紹介、応募内容ファイル)、9月1日(金)締切で提出していただくパンフレット原稿(発表要旨、システム概要)、9月27日(水)締切で提出していただく資料(ソースリスト、操作マニュアル、システム詳細説明書、チーム紹介動画)及び競技部門の解答データは、コンテスト終了後、公式サイト等で全部もしくは一部を公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーション及びデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオ及びプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。
- 本選期間中、コンテストの様様や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイト等で公開及びプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様様・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り、記録ビデオを撮影・編集し、DVD等で配付するとともに公式サイト等で公開します。
- 本選期間中に撮影された写真やビデオ類は、全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動に使用されることがあります。

## 1.9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
		第三位
特別賞	特別賞	特別賞
敢闘賞	敢闘賞	

- 課題・自由部門全チームの代表者及び競技部門入賞チームの各代表2名は、14時15分までに大ホール客席の指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- プロコンに多大な貢献をいただいている協賛企業から企業賞が贈呈されます。
- 本大会と同時にNAPROCK国際プログラミングコンテスト(<http://www.naprock.jp/?p=36921>)を開催します。海外及び国内の大学からの参加チームを含めて優秀なチームには、以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
国際最優秀賞 Grand Prize	国際最優秀賞 Grand Prize	国際優勝 Champion
国際優秀賞 Second Prize	国際優秀賞 Second Prize	国際準優勝 First-Runner-up Prize
国際特別賞 Special Prize	国際特別賞 Special Prize	国際特別賞 Special Prize

## 1.10 宿泊・昼食・情報交換会及び会場への交通

宿泊についての申込み締切は、8月31日(木) 24時です。参加登録・宿泊受付システム(<https://v3.apollon.nta.co.jp/procon2017/>)にて申込みください。参加登録・宿泊受付システムについては、予選後に送付した「参加登録・宿泊・お弁当・その他のご案内」に詳細な申込み方法が記載されておりますので、ご参照ください。なお、参加登録・昼食・情報交換会の事前申込みをしていないチームは速やかに登録してください。昼食、宿泊等の申し込みが不要でも参加登録は必ず実施願います。

### 宿泊

学生及び引率教員の宿泊は周南市内のホテルを予定しています。

### 昼食

事前に予約された昼食は、学校毎に配付します。飲食は、ロビーのソファや会館内外のベンチなどをお願いします。なお、大ホールは飲食厳禁です。

### 情報交換会

10月8日(日)の18:30~20:30、「遠石会館」(〒745-0816 山口県周南市遠石二丁目 3-1 TEL:0834-32-2181 FAX:0834-32-2182)において情報交換会を開催します。参加費用は一人5,000円です。移動は、マイクロバスを利用する予定です。

これらの件に関するお問い合わせは、下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

日本旅行 西日本MICE(マイス)営業部

担当: 西住・東房

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル 5F

TEL: 06-6342-0230 FAX: 06-6342-0232 Email: ec\_gakkai@nta.co.jp

営業時間: 平日9:45~17:45 (土日祝休)

## 1.11 学生交流企画について

参加者同士の交流を促進するため、以下のような企画の実施を予定しています。

### (1) クイズ大会（予定）

10月8日(日) 17:00～18:30 学生交流会 大ホールにて  
チーム対抗でスマートフォンを用いたクイズ大会を行います。  
豪華賞品も用意しておりますので、是非参加ください。

### (2) 参加学生の相互評価・順位予想

本選開催中に参加学生の相互評価・順位予想などを行います。  
投票していただいた方には参加賞を用意しています。

詳細については、別途ご案内します。

## 1.12 会場使用上の注意点について

付録1に会場案内図を添付します。ご参照ください。

- 飲食は、会館内外のベンチ、ロビーのソファ等をお願いします。なお、**大ホールは飲食厳禁です。**
- 指定場所で飲食する場合は椅子等を汚さないように注意願います。万が一、汚した際は、本部へ連絡願います。
- ゴミは必ず持ち帰ってください。

## 1.13 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材を受けた場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。
- 本コンテストは、協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、主管校の教職員や学生等、多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は、感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技部門会場、開・閉会式会場では、必ず携帯電話等はマナーモード等の着信音の出ない状態に設定してください。

## 1.14 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、必ず指導教員を介して下記へお願いします。

問い合わせ先

〒742-2193 山口県大島郡周防大島町大字小松 1091-1  
大島商船高等専門学校 学生課学生係  
全国高専第28回プロコン委員会事務局  
Tel: 0820-74-5460 Fax: 0820-74-5554  
E-mail: [jimu28@procon.gr.jp](mailto:jimu28@procon.gr.jp)

## 2. 課題・自由部門についての連絡事項

### 2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、参加登録の Web ページで案内した通りです。参加登録時にシステム搬送を申込みされた参加校は、8月末までに各校からフリーダイヤル（0120-01-9625）へ連絡し最寄のヤマト運輸支店と搬送物品や搬送方法について事前に打ち合わせを行ってください。
- システム搬送にあたっては、同封した伝票を利用してください。不足する場合は、各チームで伝票をご用意いただき同じ宛先を記入してください。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、担当業者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、見易い位置に梱包識別票（3箇所程度）を必ず貼付してください。
- 搬送物は業者によって、10月7日(土)の夕方までにデモンストレーション会場である、周南市文化会館3階展示室に搬入されます。参加チームは、搬入された物品の確認を、10月8日(日)の8:30よりデモンストレーション会場で行ってください。なお、10月7日(土)に開梱することは出来ません。
- 搬出については、10月9日(月)の14:00～14:30の間に梱包の上、同封した着払いの返送用伝票と梱包識別票を貼付して、配送業者（ヤマト運輸）に引き渡してください。
- 梱包識別票は、公式サイトからダウンロードできますので、ご利用ください。

### 2.2 プレゼンテーションについて

#### (1) プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。
- 設置するプロジェクタで接続可能なコネクタは「ミニD-SUB15pin」もしくは「HDMI」が使用可能です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- 10月7日(土)夕方の受付時に接続確認を行うことができます。
- パソコン接続及び操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7月3日(月)付で送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

#### (2) プレゼンテーション審査のタイムテーブル

- 付録3、付録4にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意の上、遅れないように準備してください。

#### (3) プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

## 2.3 デモンストレーションについて

- (1) システム搬入チェック【10月8日(日) 8:30~9:15】
  - 搬入された荷物は各ブースに置いてあります。
  - 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。
- (2) システムセッティング【10月8日(日) 10:10~10:40, 10月9日(月) 8:15~8:45】
  - ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録5を参照してください。
  - システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
  - 各作品は、机や発表者の椅子なども含めて幅 180cm, 奥行 150cm, 高さ 210cm の範囲内にセッティングしてください。発表者もこの範囲内でデモを行ってください。なお、机は幅 180cm, 奥行は 45cm(机 1 台)または 90cm(机 2 台)です。標準は机 2 台としますが、システム等の調書で 0~2 台を選択することができ、椅子についても 0~2 脚を選択できます。
  - 展示ブースの壁は幅 180cm, 高さ 210cm 程度(ただし、下 70cm は机を設置した場合には見えなくなるので注意が必要)空いています。パーテーションへの資料の固定にセロハンテープ等粘着性のあるもの及びネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。ポスターなどの掲示には、S 字フックなどを利用してください。この場合、吊り下げのためのチェーン、紐等、展示に必要な物品・道具は主催者側では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。
  - システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、机の下に置いてください。納めることができない場合には、大会スタッフの指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。なお、机の下に置く場合は来場者から見えないように工夫してください。白のテーブルクロスを主催者側で準備しますので、必要な場合は利用してください。
  - システムを置く机の下にコンセントを少なくとも 1 口は準備します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。また、ブースあたりの合計容量は **500W 以下**です。容量オーバーによる停電等電氣的トラブルが発生しますと、大会に重大な影響がでますので、この電力を絶対に超えないようにしてください。例年より利用可能な容量が少ないので十分にご注意ください。
  - 各ブースには必要に応じて、インターネット接続用(対外接続 100Mbps のベストエフォート)の LAN ケーブルを 1 本用意します。
  - さらに、デモ会場内に無線によるインターネット接続(ベストエフォート)を提供する予定です。各ブースで無線 LAN アクセスポイントを設置することは各チームの判断に任せますが、電波混雑により通信に影響がでることも予想されます。タブレット端末等が単にインターネット接続ができればよい場合等はできるかぎり主催者提供のアクセスポイントをご利用ください。できるだけブース内での独自の無線 LAN アクセスポイントの設置を控えていただき、会場内の電波混雑緩和にご協力ください。ただしいずれの場合も、インターネット接続ができなくてもデモができるようにシステムを構築して下さい。
  - 主催者側で用意する無線 LAN 環境は 11g (2.4GHz 帯) を用意いたします。もし、各チームで無線を用意する場合は 11a (5GHz 帯) を利用してください。
  - DHCP 機能を有するブロードバンドルータなどを持ち込む場合は、差込口等を間違えないように気をつけてください。
  - システムの最終調整とブース内の整理整頓を行い、システムの魅力が審査委員や来場者に伝わるようにしっかり準備してください。

- (3) デモンストレーション一般公開【10月8日(日) 10:40~16:50, 10月9日(月) 9:00~14:00】
- デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し実施してください。
  - 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
  - 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査及びマニュアル審査と並行して行います。
  - 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
  - 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。昼食などは交代で取り、説明者が不在とならないようにしてください。
  - 学生間はもちろん、協賛企業様などとの情報交換を積極的に行ってください。
- (4) デモンストレーション審査【10月9日(月) 8:45~12:00】
- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
  - 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。
  - 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
  - デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
- (5) マニュアル審査【10月9日(月) 8:45~12:00】
- 提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。
  - 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
  - マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
  - 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
  - マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします。
- (6) デモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブル
- 付録6にデモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。
- (7) システムの搬出【10月9日(月) 14:00~14:30】
- デモシステムを梱包し、返送伝票および梱包識別票を貼付して各ブースの机の上に置いてください。
  - 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。
  - 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。
  - “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
  - 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
  - “後片付け”と“清掃”が完了したら大会スタッフに連絡し、チェックを受けてください。

## 2.4 本選審査手順について

### I. 各審査委員における評定

1. プレゼンテーション審査: A, B, C の 3 段階評価をします。  
独創性(最重点), システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む), 記述力, 発表能力, 有用性等を総合して評価します。
2. デモンストレーション審査: A, B, C の 3 段階評価をします。  
独創性(最重点), 技術力, 有用性, 操作性, 発表能力, 発表掲示, 完成度等を総合して評価します。
3. マニュアル審査: 正確性・記述力に関してそれぞれ 5 段階, 3 段階の評価をします。  
正確性: A マニュアルどおりに動作する。  
A' マニュアルどおりに動作するが, 説明を受けないと分かりにくい。  
B 一部マニュアルどおりに動作しない。  
B' マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。  
C マニュアルとして不備が目立つ。  
記述力: A, B, C の 3 段階評価(わかりやすさなど)

### II. 選考の流れ

1. 評定一覧表の作成  
一覧表に, 各審査委員からの評定(A, B, C 等)を入力します。
2. 点数換算集計表の作成  
プレゼンテーション, デモンストレーションの審査評定は下記のように換算します。  
A=6, B=3, C=1; 各部門, 審査委員の評定を合計します。  
マニュアルの審査評定は下記のように換算します。  
正確性に関しては, A=7, A' =5, B=3, B' =2, C=1  
記述力に関しては, A=3, B=2, C=1  
プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評定を合計し総合得点とします。
3. 成績順位表の作成  
総合得点の高い順にソートし, 順位を算出します。
4. 選考の順序  
以下の順序に従い, 審査委員会で審議・合議の上, 判断します。  
(i) 最優秀賞, 優秀賞  
得点のみの情報を提示し, 上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに, 上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞), 優秀賞を決定する(新增沢方式)。  
(ii) 特別賞  
(i) で最優秀, 優秀に選ばれなかったチームから, 課題部門・自由部門とも 4 チーム以内で選考する。  
(iii) 佳作  
佳作に該当する作品があるかどうか, 審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢式採点法 <https://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法> (Wikipedia より)

### 3. 競技部門についての連絡事項

#### 3.1 組み合わせ

1 回戦の組み合わせは、審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録 7 競技組み合わせ」の通りです。

#### 3.2 競技進行の概要

- 競技は、1 回戦 4 試合、敗者復活戦 2 試合、準決勝 2 試合、決勝 1 試合により行います。
- 予行演習・1 回戦は 10 月 8 日(日)、敗者復活戦・準決勝・決勝は 10 月 9 日(月)に行います。

#### 3.3 競技部門の賞

- 決勝戦での成績により、高専プロコン競技部門の優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第 3 位を決定します。
- 応募書類、提出書類及び競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。
- 国際大会の成績は、海外チーム・大学生チームを含めた決勝戦での順位により決定します。

#### 3.4 予行演習

競技に先立って以下の通り予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時: 10 月 8 日(日) 10:10～  
会場: 競技部門会場(大ホール)

予行演習は 1 試合 15 分程度での実施を予定しています。試合の流れを確認するための演習であり、時間内にパズルが完成できない場合も、時間内に回答終了(回答台のふたを閉める)までの流れを必ず確認してください。なお、予行演習で使用するパズルは再利用するため、印や記号を記入したり、着色したりすることはできませんので注意してください。

また、予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10 月 8 日(日) 8:30～、大ホール)で連絡します。全チーム必ず参加してください。

#### 3.5 機材の搬送について

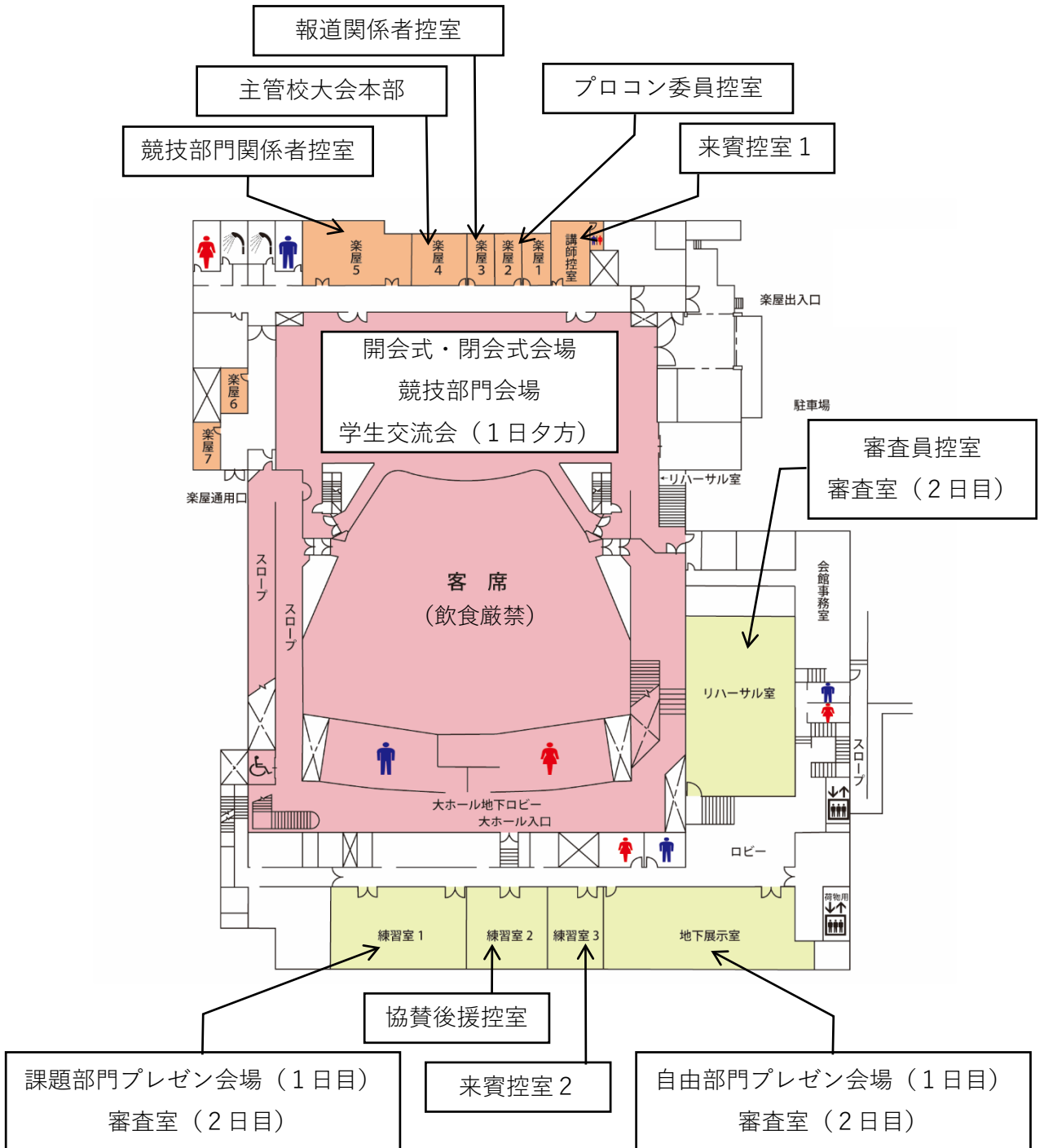
- 競技部門で利用する機材等を搬送する場合は、宿泊先ホテルを宛先としてください。会場へ直接送付しないでください。

#### 3.6 注意事項

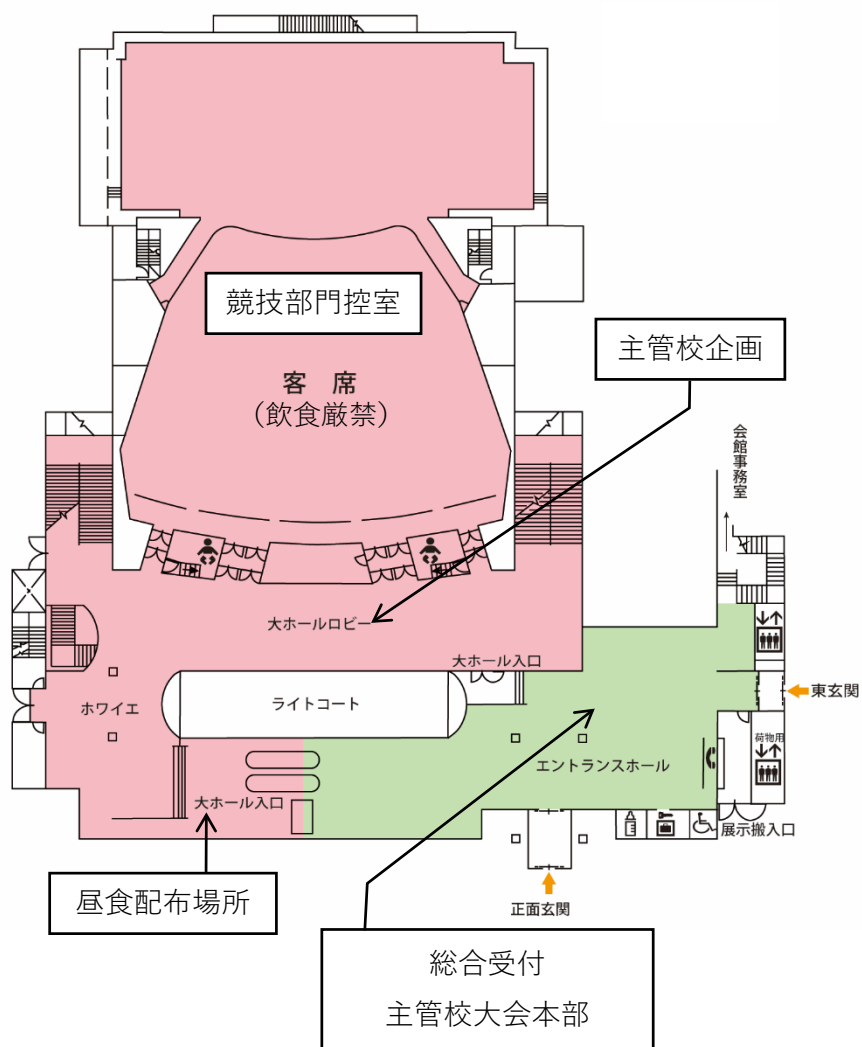
- 付録 7 の組み合わせにあるように、1 つの対戦は最大 18 チームです。予行演習も最大 18 チームとなります。
- 準決勝からは国際大会となり、海外チーム・大学生チームが参加します。1 回戦にはこれらのチームがオープン参加することがありますが、国内チームの準決勝進出条件には関係ありません。
- 大ホールステージ上のテーブルには、電源コンセントを準備します。1 チーム当たり 150W 程度の利用を想定しています。容量を超えないよう注意してください。
- その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。



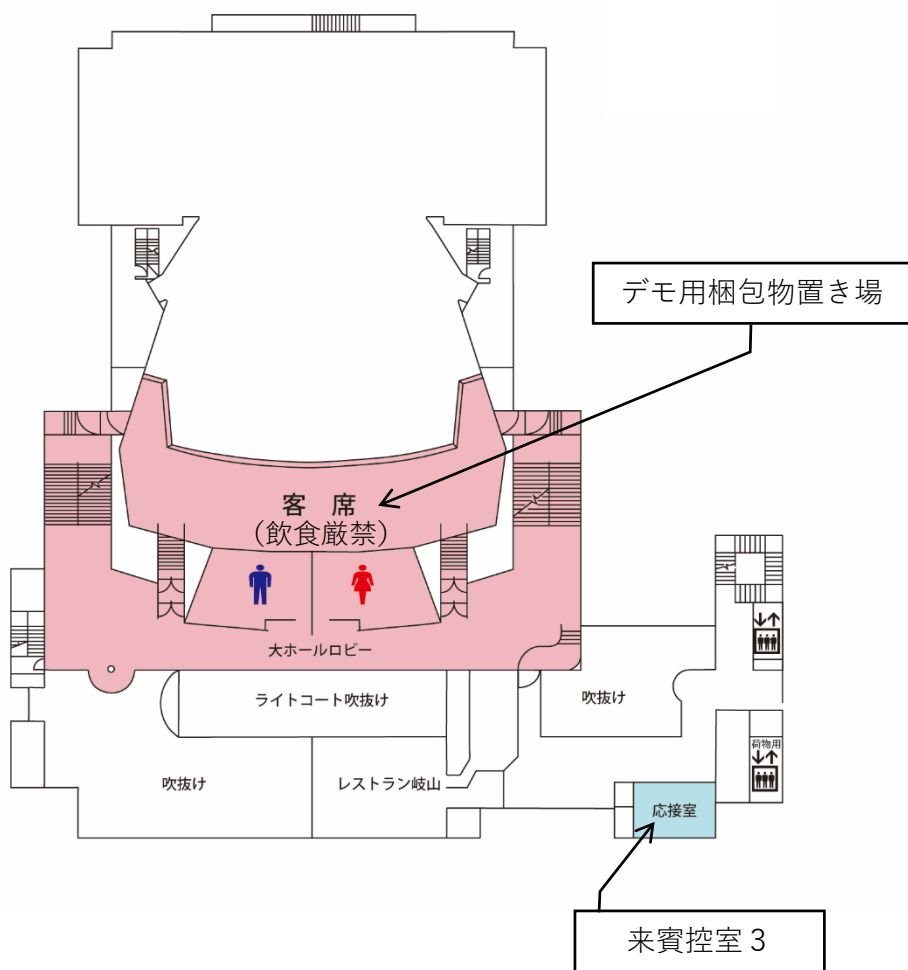
# 地下



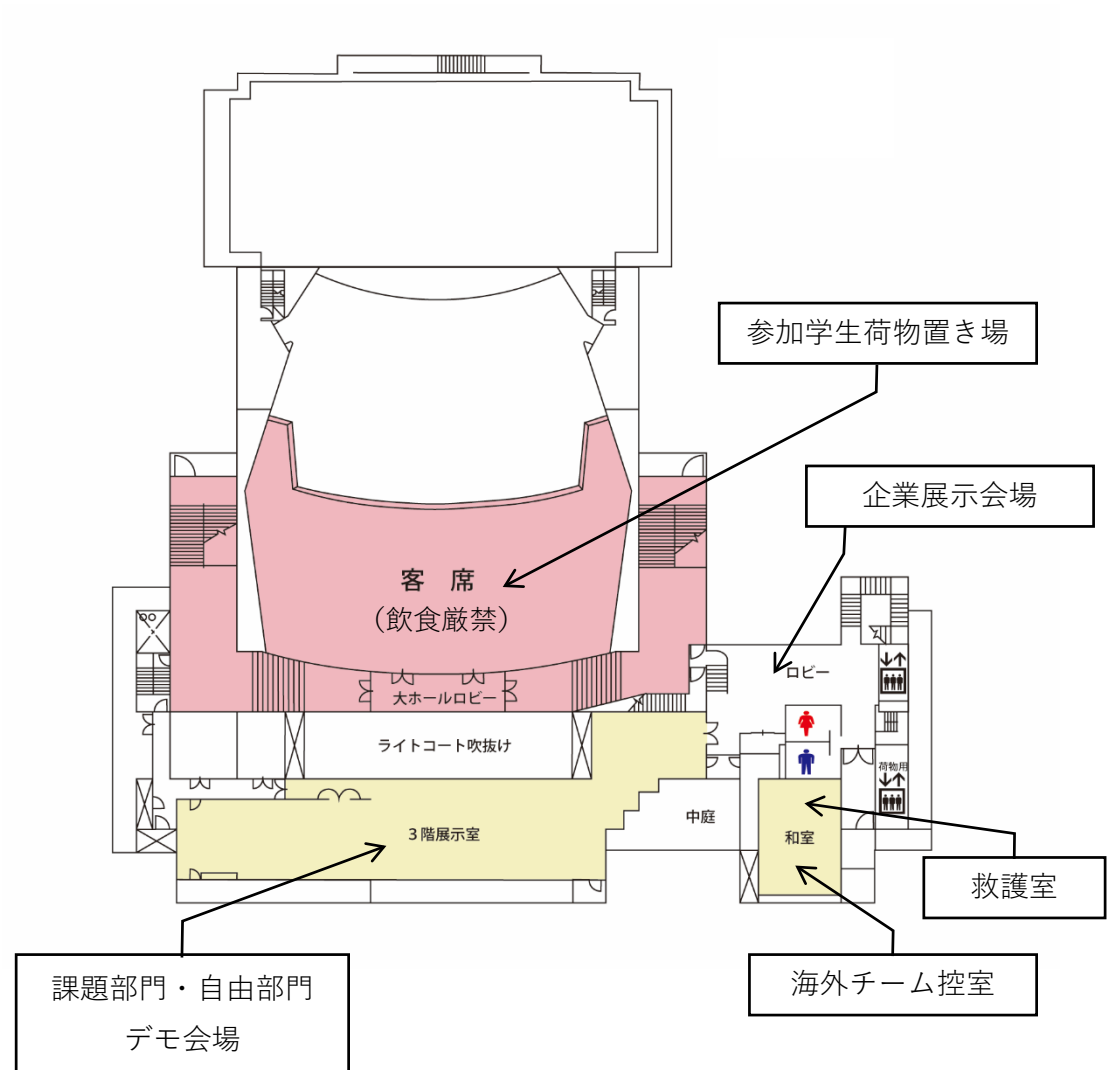
# 1階



# 2階



# 3階



交通案内



周南市文化会館

〒745-0874 山口県周南市徳山 5854-41  
[TEL:0834-22-8787](tel:0834-22-8787)/ [FAX:0834-22-8790](tel:0834-22-8790)  
<http://s-bunka.jp>

徒歩・タクシー・バスの場合

徒歩：JR 徳山駅より約25分（約1.8km）

タクシー：約5分

バス：金剛山経由イオンタウン周南・下松駅北口・

周南記念病院・ひばりヶ丘団地行

動物園文化会館入口下車

## 第28回プログラミングコンテスト

## 課題部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月8日(日) 10:10～16:31  
 会場 練習室1  
 発表持ち時間 発表時間8分 質疑応答4分 交代1分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ~ 10:22	TOSS –手軽にかしこいスポーツ運営–	津山
2	10:23 ~ 10:35	ブラシでこすれ「ヤー！」カーリング	阿南
3	10:36 ~ 10:48	STEP –スコアブックと連動する動画閲覧システム–	鳥羽商船
4	10:49 ~ 11:01	Balloon Connector –熱気球競技観戦支援システム–	一関

11:01 ~ 11:09 休憩8分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ~ 11:20	Virtual Recreation Boccia	八戸
6	11:22 ~ 11:34	Smart Judge –スマホで簡単球技審判システム–	都立(品川)
7	11:35 ~ 11:47	GHOST RUNNER	長野
8	11:48 ~ 12:00	野球BAN! –体感型野球盤風ゲーム–	熊本(八代)

12:00 ~ 13:40 休憩100分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:40 ~ 13:52	Ri-Form	香川(詫間)
10	13:53 ~ 14:05	BLOOD ピット!	弓削商船
11	14:06 ~ 14:18	パントマイムAR –気軽に楽しくLet'sパントマイム–	木更津
12	14:19 ~ 14:31	Colors –十人十色の色鬼–	松江

14:31 ~ 14:40 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:40 ~ 14:52	tosuru –仮想世界へLet's throw–	香川(詫間)
14	14:53 ~ 15:05	Emotionic –エフェクトで魅せる観客参加型スポーツ–	仙台(広瀬)
15	15:06 ~ 15:18	テレスコア	鳥羽商船
16	15:19 ~ 15:31	Ostrich☆i –ロードバイク用危険検出システム–	広島商船

15:31 ~ 15:40 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:40 ~ 15:52	AirRider –没入型パラグライディング体感システム–	大島商船
18	15:53 ~ 16:05	Aqua Screen –透過スクリーンか `魅せるAR観戦–	岐阜
19	16:06 ~ 16:18	楽しいむ –VRスポーツクライミング体験–	香川(高松)
20	16:19 ~ 16:31	TTAP –卓球ゲーム分析アドバイスシステム–	米子

## 第28回プログラミングコンテスト

## 自由部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月8日(日) 10:10～16:31  
 会場 地下展示室  
 発表持ち時間 発表時間8分 質疑応答4分(海外チーム6分) 交代1分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ~ 10:22	メロディー☆アート	広島商船
2	10:23 ~ 10:35	Bird Finder -バードウォッチング支援システム-	東京
3	10:36 ~ 10:48	出発振行!	石川
4	10:49 ~ 11:01	新しい電子黒板の形の提案 -既存プロジェクタをより活用するために-	呉

11:01 ~ 11:09 休憩8分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ~ 11:20	TRY 聴音羽 -聴覚障がい者会話支援システム-	舞鶴
6	11:22 ~ 11:34	カガクカモン -次世代科学館サポートシステム-	高知
7	11:35 ~ 11:47	タスクPON! -学生用課題管理システム-	米子
8	11:48 ~ 12:00	Angel Fishing -HMDを用いた新感覚VRゲーム到来-	大島商船

12:00 ~ 13:00 休憩60分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
21 キングモンクット	13:00 ~ 13:14	未定	キングモンクット
22 シンガポール	13:15 ~ 13:29	未定	シンガポール

13:29 ~ 13:40 休憩・審査員移動11分

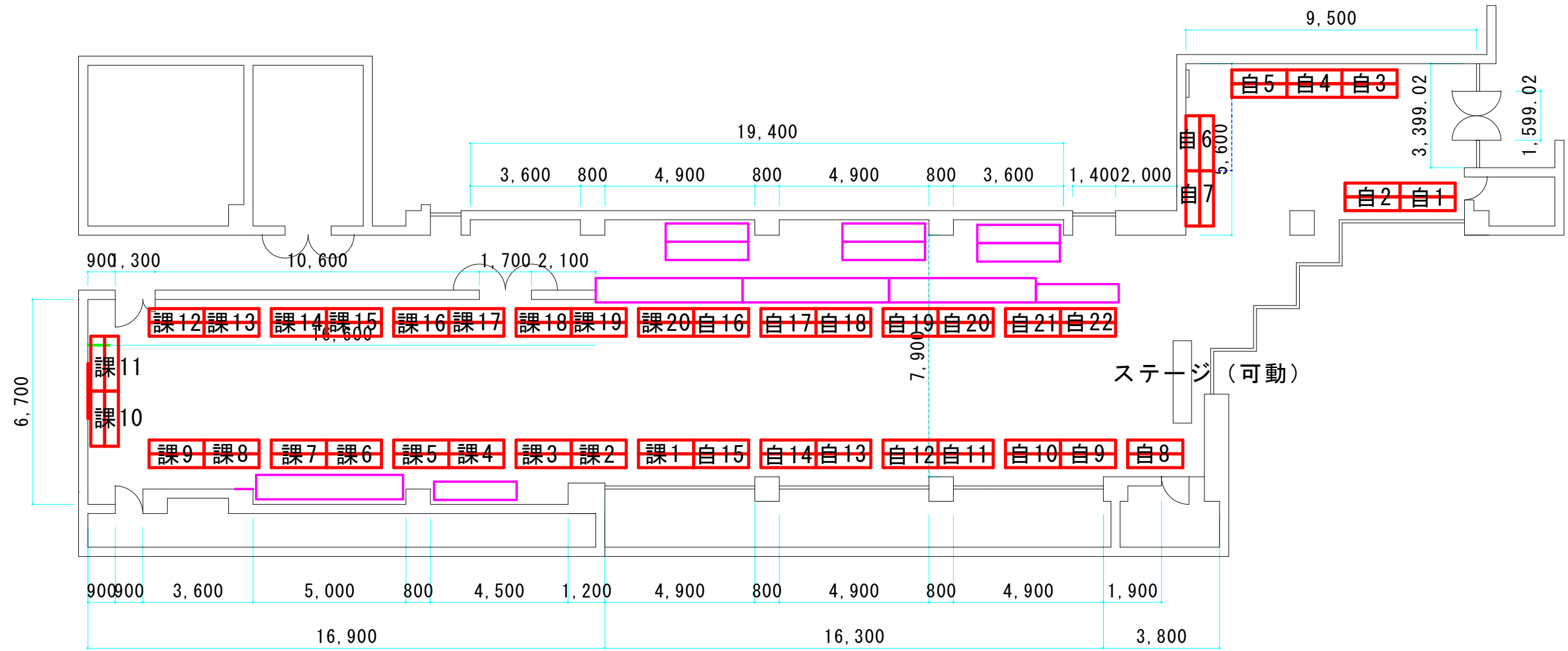
発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:40 ~ 13:52	Tanboo -水田監視システム-	長岡
10	13:53 ~ 14:05	SpeaCAR -会話型事故防止システム-	豊田
11	14:06 ~ 14:18	HighSight -2機のドローンを活用した立体視システム-	沖縄
12	14:19 ~ 14:31	うみどり -ドローンを用いた水産業支援システム-	鳥羽商船

14:31 ~ 14:40 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:40 ~ 14:52	顔方向・音声認識を用いた運転補助システム	北九州
14	14:53 ~ 15:05	EachTouch	香川(詫間)
15	15:06 ~ 15:18	救&援:Q&A -救命支援システム-	阿南
16	15:19 ~ 15:31	It's a big world -昆虫の世界を体験しよう!-	鈴鹿

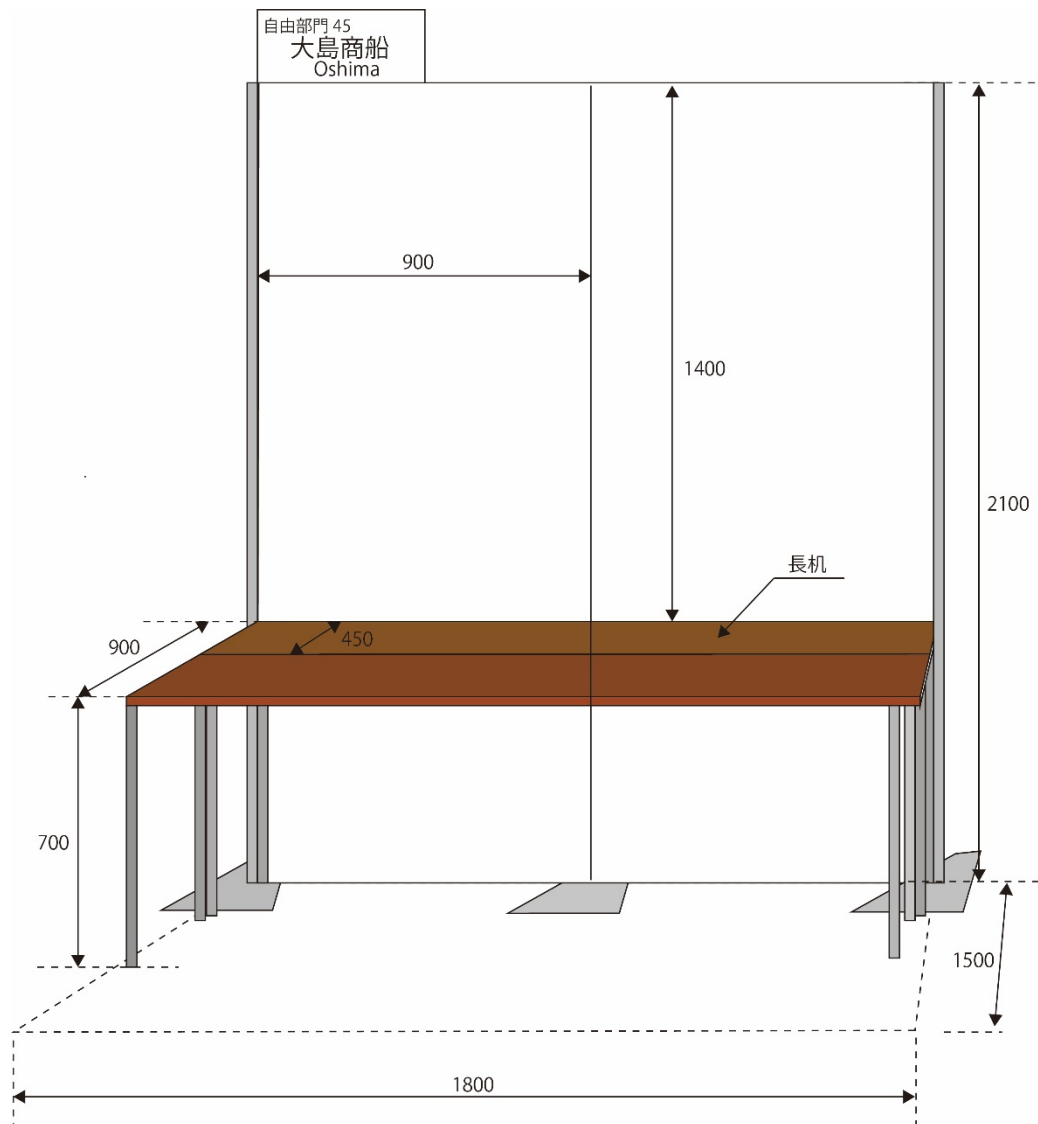
15:31 ~ 15:40 休憩9分

発表順番号	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:40 ~ 15:52	つみきっず -つみきを用いた幼児向けプログラミング学習システム-	沖縄
18	15:53 ~ 16:05	ここきのこ -植生地デジタルアーカイブシステム-	一関
19	16:06 ~ 16:18	Safety Intercom -安心来客対応支援システム-	阿南
20	16:19 ~ 16:31	Gathers	熊本(八代)





## ●課題・自由部門 展示スペースの概略寸法



## 注意事項

- 各ブースは幅 180 cm、奥行き 150 cm、高さ 210 cmです。
- 高さ 210 cm の上部に発表番号と高専名を表示します。
- 展示用パネルは横幅 180 cm、高さ 210 cm ですが、下部 60 cm は空間となっています。
- 展示用長机のサイズは幅 180 cm、奥行き 45 cm、高さ 70 cm です。希望により机を 2 台まで使用することができます。長机を使用する場合、掲示パネルの掲示可能領域の高さは 140 cm となります。
- コンセントおよび LAN ケーブルは、机の下に施設する予定です。
- **掲示パネルはテープ類の使用はできません。**画鋲またはフックを使用してください。
- 主催者側で白のテーブルクロスを用意しますので、使用することができます。

## 課題部門・自由部門

## デモンストレーション審査&amp;マニュアル審査 タイムテーブル

審査日時 10月9日(月) 8:45~11:44  
 会場 3階展示室  
 審査時間 7分(説明2分 質疑応答5分 移動を含む)

審査時間	課題部門				自由部門			
	A班	B班	C班	D班	E班	F班	G班	H班
8:45 ~ 8:52	1	6	11	16	1	6	11	16
8:52 ~ 8:59	2	7	12	17	2	7	12	17
8:59 ~ 9:06	3	8	13	18	3	8	13	18
9:06 ~ 9:13	4	9	14	19	4	9	14	19
9:13 ~ 9:20	5	10	15	20	5	10	15	20
9:20 ~ 9:27	6	11	16	1	6	11	16	21 キングモンクット
9:27 ~ 9:34	7	12	17	2	7	12	17	22 シンガポール
9:34 ~ 9:41	8	13	18	3	8	13	18	1
9:41 ~ 9:48	9	14	19	4	9	14	19	2
9:48 ~ 9:55	10	15	20	5	10	15	20	3
9:55 ~ 10:20	休憩時間(25分)							
10:20 ~ 10:27	11	16	1	6	11	16	21 キングモンクット	4
10:27 ~ 10:34	12	17	2	7	12	17	22 シンガポール	5
10:34 ~ 10:41	13	18	3	8	13	18	1	6
10:41 ~ 10:48	14	19	4	9	14	19	2	7
10:48 ~ 10:55	15	20	5	10	15	20	3	8
10:55 ~ 11:02	16	1	6	11	16	21 キングモンクット	4	9
11:02 ~ 11:09	17	2	7	12	17	22 シンガポール	5	10
11:09 ~ 11:16	18	3	8	13	18	1	6	11
11:16 ~ 11:23	19	4	9	14	19	2	7	12
11:23 ~ 11:30	20	5	10	15	20	6	8	13
11:30 ~ 11:37					21 キングモンクット	4	9	14
11:37 ~ 11:44					22 シンガポール	5	10	15

## 注意事項

- ① A班、B班、C班、E班、F班、G班はデモンストレーション審査  
D班、H班はマニュアル審査を示す。
- ② 1~20はプレゼンテーション審査の発表順番号の作品を示す。  
自由部門の21,22は海外チームの作品を示す。
- ③ 『キングモンクット』は、タイのキングモンクット大学ラカバン校を示す。
- ④ 『シンガポール』は、シンガポールポリテクニクを示す。

## 競技部門の組合せ

## 1回戦

ブース	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
1	宇部	旭川	大阪府大	福島
2	久留米	松江	鹿児島	奈良
3	富山(射水)	香川(高松)	舞鶴	呉
4	サレジオ	鶴岡	釧路	都立(荒川)
5	高知	長野	熊本(熊本)	小山
6	和歌山	函館	茨城	鳥羽商船
7	都城	有明	津山	佐世保
8	米子	苫小牧	大島商船	広島商船
9	東京	沖縄	一関	秋田
10	長岡	鈴鹿	都立(品川)	熊本(八代)
11	福井	仙台(広瀬)	北九州	八戸
12	岐阜	沼津	仙台(名取)	神戸市立
13	徳山	香川(詫間)	新居浜	群馬
14	石川	阿南	豊田	木更津
15	大分	弓削商船	明石	豊橋技術科学大学
16	ハノイ国家大学	モンゴル科学技術大学	ペトロナス工科大学	香港 IVE
17				
18				

※ 各試合上位6チームが準決勝へ進出する。7位以下は敗者復活戦へ。

## 敗者復活戦

ブース	第1試合	第2試合
1	1-1-7	1-2-7
2	1-3-7	1-4-7
3	1-3-8	1-1-8
4	1-4-8	1-2-8
5	1-1-9	1-4-9
6	1-2-9	1-3-9
7	1-2-10	1-1-10
8	1-4-10	1-3-10
9	1-1-11	1-3-11
10	1-2-11	1-4-11
11	1-4-12	1-1-12
12	1-3-12	1-2-12
13	1-1-13	1-2-13
14	1-3-13	1-4-13
15	1-3-14	1-1-14
16	1-4-14	1-2-14
17	1-1-15	1-3-15
18	1-2-15	

※ 各試合上位3チームが準決勝へ進出する。

## 準決勝

ブース	第1試合	第2試合
1	ハノイ国家大学	モンゴル科学技術大学
2	香港 IVE	ペトロナス工科大学
3	豊橋技術科学大学	1-2-1
4	1-1-1	1-4-1
5	1-3-1	1-1-2
6	1-2-2	1-3-2
7	1-4-2	1-2-3
8	1-1-3	1-3-3
9	1-4-3	1-1-4
10	1-2-4	1-4-4
11	1-3-4	1-3-5
12	1-1-5	1-4-5
13	1-2-5	1-1-6
14	1-3-6	1-2-6
15	1-4-6	C-2-1
16	C-1-1	C-1-2
17	C-2-2	C-2-3
18	C-1-3	

※ 各試合上位9チームが決勝へ進出する。

## 決勝戦

ブース	第1試合
1	S-1-1
2	S-2-1
3	S-1-2
4	S-2-2
5	S-1-3
6	S-2-3
7	S-1-4
8	S-2-4
9	S-1-5
10	S-2-5
11	S-1-6
12	S-2-6
13	S-1-7
14	S-2-7
15	S-1-8
16	S-2-8
17	S-1-9
18	S-2-9

※ X-Y-Z はX回戦-第Y試合-第Z位を表します。ただし、X部分のCは敗者復活戦、Sは準決勝を表します。

※ 1回戦には海外・大学チームがオープン参加します。オープン参加のチームの成績は、日本チームの順位には関係ありません。

※ 準決勝・決勝はNAPROCK国際プロコン（国際大会）を兼ねて実施されます。準決勝・決勝の海外・大学チームは国際大会の公式エントリーで、日本チーム・海外・大学チームの区別なく、試合の成績により決勝進出や準決勝・決勝での国際大会の順位が決まります。

※ 全国高等専門学校プログラミングコンテストの順位については、海外・大学チームを除きます。

## 同意書

プログラミングコンテスト委員会が、以下の著作権物等を以下のような用途及び範囲で利用することを許諾します。

### 【対象（著作物等）】

- ・ 応募時提出書類（作品紹介または応募内容ファイル）
- ・ パンフレット原稿（発表要旨またはシステム概要）
- ・ プレゼンテーションに用いたファイルおよびデータ
- ・ 操作マニュアル
- ・ プレゼンテーション、デモンストレーション、競技等のビデオ及び写真
- ・ 競技部門の回答データ
- ・ チーム紹介動画

### 【用途】

- ・ 大会記録
- ・ 主として高専学生を対象とした教材への利用
- ・ マスコミ等への取材協力
- ・ 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動

### 【公開範囲】

- ・ プロコン公式サイト
- ・ 記録 CD/DVD
- ・ パンフレット 等
- ・ プロコンのライブ配信 等
- ・ 高専学生用 e-Learning システム 等
- ・ TV、新聞、雑誌等への掲載

上記内容に同意します。

2017年 月 日

高 専 名： \_\_\_\_\_ 高等専門学校

部 門 名： 課題 ・ 自由 ・ 競技 部門

作品タイトル： \_\_\_\_\_

署 名（自 署）：

指導教員 \_\_\_\_\_

学 生 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

# パンフレット執筆要項(課題・自由部門の雛形ファイル)

## 1. はじめに

課題、自由部門は、この雛形ファイルを修正する形でパンフレットでの作品紹介を作成して下さい。Microsoft Word 以外のソフトウェアで作成しても構いませんが、書式やファイル形式を遵守して下さい。

## 2. 書式について

### 2.1 用紙サイズについて

作品紹介は必ず A4 版の用紙 1 枚にまとめて下さい。

### 2.2 段組について

必ず 2 段組として下さい。

### 2.3 余白について

余白は、左右 25mm、上 55mm、下 25mm とします。

上の余白部分に作品タイトル、高専名、参加学生、指導教員の情報が記載されますので、本文領域には紹介内容だけを書いて下さい。

なお、本文領域内に収まりさえすれば、行数および 1 行あたりの文字数は若干変更があっても構いません。

### 2.4 フォントについて

章・節・項の見出しは 9 ポイントのゴシック体とし、下線を引いて下さい。章・節・項の構成は自由ですが、読み易くなるように配慮して下さい。

また、本文の文字は 9 ポイントの明朝体とし、図中の文字は 8 ポイント以上とします。図や表のキャプションは 9 ポイントのゴシック体とします。

### 2.5 ページ番号について

ページ番号は打たないで下さい。

### 2.6 図・写真について

図や写真は鮮明なものの使用して下さい。PDF ファイルをパンフレット版下として直接用いますので、事前に印刷して内容および画質を十分確認して下さい。

- ・画質としては 300dpi 以上を目安とします。
- ・文字化けを防ぐため、フォントはすべて埋め込んで下さい。

- ・パンフレットはカラー印刷されますので、図や写真はカラー画像を利用していただけです。ただし、思い通りの色で印刷されないことも考慮して置いてください。

## 3. 原稿の提出について

### 3.1 ファイル形式について

原稿は必ずワープロで作成し、PDF ファイルをオンラインのページから提出して下さい。AdobeReader で閲覧可能な形のファイルにして下さい。

オンライン登録のページ

<http://www.procon.gr.jp/>

### 3.2 ファイルサイズについて

ファイルサイズは 100MB 以内とします。ファイルの圧縮は認めません。

## 4. 提出期間

提出期間は 8月25日(金)～9月1日(金)です。

## 5. その他

見本の執筆例が公式サイトにありますので、参考として下さい。

# 全国高等専門学校 第 28 回 プログラミングコンテスト システム等の調書

部 門 (○で囲む)	課題部門	自由部門	発表順 (登録番号)	( )
タ イ ト ル				
学 校	校 名	高等専門学校		
	住 所	〒		
	電 話	( ) —		
指 導 教 員	学 科			
	氏 名			
シ ス テ ム	デモンストレーションのハードウェア構成			
	デモンストレーション時の使用電力 約 _____ ワット (合計 500 ワット以下にしてください。)			
そ の 他 (○で囲む)	<p>■テーブル台数： [ 不要 1台 2台 ]</p> <p>■椅子（パイプ椅子）脚数： [ 不要 1脚 2脚 ]</p> <p>■有線インターネット接続の有無： [ 接続する 接続しない ]</p> <p>■主催者提供の無線 LAN： [ 使用する 使用しない ] (接続機器 1台 2台)</p> <p>■無線 LAN AP の持ち込み： [ 持ち込む 持ち込まない ] (機器名： SSID: チャンネル: )</p> <p>■システム搬送： [ 指定業者に依頼 参加者自身で搬送 ]</p> <p>■要望事項・連絡事項等：</p>			

注意：別紙の注意事項を参照の上、記入してください。

**提出期間： 8月25日（金）～9月1日（金）**

**提出方法：オンライン登録**

## システム調書記入上の注意事項：

1. 課題・自由部門では、有線および無線 LAN によるインターネット接続を以下の条件で提供します。
  - 各ブースに 1 ポートの UTP ケーブルを提供します。
  - 主催者提供の無線 LAN の方式は 802.11g (5GHz) で、暗号化方式は WPA2/PSK です。各チームで最大 2 台の無線機器を接続できます。デモ会場の SSID およびパスワード等については、参加者連絡会議などでお知らせします。
  - 主催者側では、インターネット接続を保障するものではありません。障害発生時のことも考慮に入れてシステムを構成してください。
  - HUB、ルータ等は各自で準備してください。
  - ネットワーク接続は、DHCP によるアドレス発行を行います。
2. 無線 LAN AP を持ち込む場合は、802.11a を利用できる機器としてください。機器名及び SSID、チャンネルを記載してください。
3. テーブルや参加者用の椅子なども含めて幅 180cm、奥行 150cm、高さ 210 cm の範囲に置けるものとしてください。
4. 各ブースのテーブル（幅 180cm、奥行 45cm、高さ 70cm）は主催者側で設置を予定しています。必要数を「その他」の欄にて○で囲んで答えてください。なお、2 台設置する場合は手前に並べますので幅 180cm、奥行き 90cm となります（本選実施要項の付録 5 参照）。

第 28 回プログラミングコンテスト

プログラムソースリスト

##部門：発表順番号（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：####高等専門学校

学生氏名：## ##

## ##

## ##

## ##

## ##

指導教員：## ##



第 28 回プログラミングコンテスト

操作マニュアル

##部門：発表順番号（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：####高等専門学校

学生氏名： ## ##

## ##

## ##

## ##

## ##

指導教員： ## ##

## チェックリスト（課題・自由部門用）

部門名： 課題 自由（○で囲んでください） 発表順番号(登録番号)：\_\_\_\_\_（\_\_\_\_\_）

**8月25日（金）～9月1日（金）に提出する書類のチェックリスト**

下記チェックリストにあがっている事項を十分に確認して下さい。

パンフレット原稿は PDF ファイル、システム等の調書は Microsoft Word 形式のファイルです。同じファイル形式ですと、アップロードしたときに上書きされてしまいますので十分に御注意下さい。

## パンフレット原稿

- 部門に対応した雛形ファイルをダウンロードして修正しました（あるいは、書式を遵守しています）。
- 章・節・項の見出しは 9 ポイントのゴシック体（下線付き）を使っています。
- 本文は 9 ポイントの明朝体を使っています。
- AdobeReader で閲覧できました（\*.pdf）。
- 圧縮せずに、**100MB** を超えていません。

## システム等の調書

- 部門に対応した雛形ファイルをダウンロードして修正しました。
- Microsoft Word 形式のファイルで作成しました（\*.docx）。

## 宿泊・昼食・機材輸送・情報交換会・会場への交通

- <https://v3.apollon.nta.co.jp/procon2017/> より参加登録しました。  
【申し込み期限： **8月31日（木）**】

**9月20日(水)～9月27日(水)に提出する書類のチェックリスト**

下記チェックリストにあがっている事項を確認し、四角枠内にレ印を記入して下さい。

## プログラムソースリスト

- A4用紙（縦置き、横書き）です。
- 極端な縮小コピーをしていません。
- プロコン公式サイトからダウンロードした指定の表紙を付けました（発表順と登録番号の両方を記入）。
- AdobeReaderで閲覧できました(\*.pdf)。
- 圧縮せずに、**100MB**を超えていません。

## 操作マニュアル

- A4用紙（縦置き、横書き）です。
- 極端な縮小コピーをしていません。
- 起動から終了までの全ての手順をわかりやすく書いています（このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が操作できるようにしています）。
- ページ番号を付けました。
- 12ページ以内で作成しました。
- プロコン公式サイトからダウンロードした指定の表紙を付けました（発表順番号と登録番号の両方を記入）。
- AdobeReaderで閲覧できました(\*.pdf)。
- 圧縮せずに、**100MB**を超えていません。

## 同意書

- 参加学生全員の署名を書きました。
- 指導教員の署名を書きました。
- スキャナ等でPDFに変換し、AdobeReader等で閲覧できました(\*.pdf)。

## 緊急連絡先調書

- 宿泊先を入力しました。
- 学生代表者の連絡先を入力しました。
- 引率教員の連絡先を入力しました。

## チーム紹介動画の登録

- 解像度は640×480ピクセル以上、1920×1080ピクセル以内にしました。
- 動画コーデックはH.264ビデオかMPEG-4ビデオのいずれかにしました。
- コンテナファイルの拡張子は\*.m4v, \*.mp4, \*.mov, \*.mpg, \*.wmvのいずれかにしまし

- た。
- ファイルサイズは100MB以内にしました。
  - 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS付属のソフト(Windows 10なら「映画&テレビ」アプリ、Windows 7/8.1なら「Windows Media Player」アプリ、macOSなら「QuickTime Player」)で再生できることを確認しました。

# パンフレット執筆要項(競技部門の雛形ファイル)

## 1. はじめに

競技部門は、この雛形ファイルを修正する形でパンフレットでの作品紹介を作成して下さい。Microsoft Word 以外のソフトウェアで作成しても構いませんが、書式やファイル形式を遵守して下さい。

## 2. 書式について

### 2.1 用紙サイズについて

作品紹介は必ず A4 版の用紙 1 枚にまとめて下さい。

### 2.2 段組について

必ず 2 段組として下さい。

### 2.3 余白について

余白は、左右 20mm、上 55mm、下 142mm とします。

上の余白部分に作品タイトル、高専名、参加学生、指導教員の情報が記載されますので、本文領域には紹介内容だ

けを書いて下さい。

なお、本文領域内に収まりさえすれば、行数および 1 行あたりの文字数は若干変更があっても構いません。

### 2.4 フォントについて

章・節・項の見出しは 9 ポイントのゴシック体とし、下線を引いて下さい。章・節・項の構成は自由ですが、読み易くなるように配慮して下さい。

また、本文の文字は 9 ポイントの明朝体とし、図中の文字は 8 ポイント以上とします。図や表のキャプションは 9 ポイントのゴシック体とします。

### 2.5 ページ番号について

ページ番号は打たないで下さい。

### 2.6 図・写真について

図や写真は白黒の鮮明なものを使用して下さい。PDF ファイルをパンフレット版下として直接用いますので、事前に

印刷して内容および画質を十分確認して下さい。

- ・画質としては 300dpi 以上を目安とします。
- ・文字化けを防ぐため、フォントはすべて埋め込んで下さい。
- ・パンフレットはカラー印刷されますので、図や写真はカラー画像を利用していただけです。ただし、思い通りの色で印刷されないことも考慮しておいてください。

### **3. 原稿の提出について**

#### **3.1 ファイル形式について**

原稿は必ずワープロで作成し、PDF ファイルをオンラインのページから提出して下さい。AdobeReader で閲覧可能な形のファイルにして下さい。

オンライン登録のページ

<http://www.procon.gr.jp/>

#### **3.2 ファイルサイズについて**

ファイルサイズは 100MB 以内とします。ファイルの圧縮は認めません。

#### **4. 提出期間**

提出期間は 8月25日(金)～9月1日(金)です。

#### **5. その他**

この雛形ファイルは 2 ページに渡っていますが、紹介内容は 1 ページで作成して下さい。パンフレットでは 2 チームの紹介が 1 ページに収まります。

見本の執筆例が公式サイトにありますので、参考として下さい。

# 全国高等専門学校 第 28 回 プログラミングコンテスト システム等の調書

部 門	競 技 部 門	登 録 番 号				
学 校	校 名	高等専門学校				
	住 所	〒				
	電 話	(            )            —				
指 導 教 員	学 科					
	氏 名					
シ ス テ ム	使用機器の構成					
	種類	数量	寸法 (WxDxHmm)	質量 (kg)	電力 (W)	設置 場所
UPS						
総質量            kg (内テーブル上            kg) , 総電力						

**提出期間：8月25日（金）～9月1日（金）**

提出方法：オンライン登録

**システム調書記入上の注意事項：**

以下の競技ルール等に注意し、競技ブースに持ち込む機材を記入してください。寸法・質量・電力は概数を記載してください。設置場所はテーブル上またはテーブル下の区別を記載してください。補助電力として UPS を使用する場合は、最大入力電流を記載してください。

1. 競技ブースには合計 150 W 程度の電源コンセント 2 口を用意します。
2. 各ブースには奥行き 45cm 幅 180cm の机を 2 つ並べた、奥行き 90cm 幅 180cm のテーブルを設置し、回答台の中心がテーブルの右端から 60cm で手前の机の奥側の位置に回答台を設置します。テーブル上に設置する機器はテーブルからはみ出さないように設置できるものに限りま。
3. 1 つの机当たりの積載制限を 20kg です。
4. テーブル下にも機器を設置することができますが、テーブル下もテーブルからはみ出して設置することはできません。
5. 選手控え場所に充電用電源コンセントを用意しますが、1 チーム当たり 150W 程度を想定しています。容量を超えないよう注意してください。



第 28 回プログラミングコンテスト

プログラムソースリスト

競技部門：登録番号      # # # # #

チーム名：「# # # # # # # # # # # # # # # # # #」

学校名：# # # # 高等専門学校

学生氏名：    # #    # #

                  # #    # #

                  # #    # #

指導教員：    # #    # #

第 28 回競技部門：登録番号

タイトル：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

学校名：○○○○高等専門学校

1. はじめに

競技部門は、この雛形ファイルを修正する形で本選時の審査資料とします。Microsoft Word 以外のソフトウェアで作成しても構いませんが、書式は本サンプルにできるだけ添うようにしてください。

2. 書式について

2.1 用紙サイズについて

作品紹介は必ず A4 版の用紙 1 ページにまとめて下さい。

2.2 段組について

原則として 2 段組として下さい。

2.3 余白について

余白は、左右 25mm、上 30mm、下 25mm とします。

登録番号、作品タイトル、高専名を書いて下さい。

なお、本文領域内に収まりさえすれば、行数および 1 行あたりの文字数は若干変更があっても構いません。

2.4 フォントについて

章・節・項の見出しは 10.5 ポイントのゴシック体とし、下線を引いて下さい。章・節・項の構成は自由ですが、読み易くなるように配慮して下さい。

また、本文の文字は 10.5 ポイントの明朝体とし、図中の文字は 8 ポイント以上とします。図や表のキャプションは 10.5 ポイントのゴシック体とします。

2.5 ページ番号について

ページ番号は打たないで下さい。

2.6 図・写真について

図や写真は鮮明なものを使用して下さい。カラーでも構いません。

3. 原稿の提出について

本選実施要項に従い、オンライン登録より提出して下さい。

チェックリスト（競技部門用）

部門名： 競技部門 登録番号： \_\_\_\_\_

8月25日（金）～9月1日（金）に提出する書類のチェックリスト

下記チェックリストにあがっている事項を十分に確認して下さい。

パンフレット原稿は PDF ファイル、システム等の調書は Microsoft Word 形式のファイルです。同じファイル形式ですと、アップロードしたときに上書きされてしまいますので十分に御注意下さい。

パンフレット原稿

- 部門に対応した雛形ファイルをダウンロードして修正しました（あるいは、書式を遵守しています）。
- 章・節・項の見出しは 9 ポイントのゴシック体（下線付き）を使っています。
- 本文は 9 ポイントの明朝体を使っています。
- AdobeReader で閲覧できました（\*.pdf）。
- 圧縮せずに、100MB を超えていません。

システム等の調書

- 部門に対応した雛形ファイルをダウンロードして修正しました
- Microsoft Word 形式のファイルで作成しました（\*.docx）。

宿泊・昼食・機材輸送・情報交換会・会場への交通

- <https://v3.apollon.nta.co.jp/procon2017/> より参加登録しました。  
【申し込み期限： 8月31日（木）】

**9月20日(水)～9月27日(水)に提出する書類のチェックリスト**

下記チェックリストにあがっている事項を確認し、四角枠内にレ印を記入して下さい。

## プログラムソースリスト

- A4用紙（縦置き、横書き）です。
- 極端な縮小コピーをしていません。
- プロコン公式サイトからダウンロードした指定の表紙を付けました。
- ページ番号を付けました。
- AdobeReaderで閲覧できました(\*.pdf)。
- 圧縮せずに、**100MB**を超えていません。

## システム詳細説明書

- プロコン公式サイトからダウンロードした雛形ファイルを修正しました（あるいは、書式を遵守しています）。
- A4（縦置き、横書き）1ページです。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴等をわかりやすく書いています。
- 登録番号・タイトル・高専名が記入されています。
- AdobeReaderで閲覧できました(\*.pdf)。
- 圧縮せずに、**100MB**を超えていません。

## 同意書

- 参加学生全員の署名を書きました。
- 指導教員の署名を書きました。
- スキャナ等でPDFに変換し、AdobeReader等で閲覧できました(\*.pdf)。

## 緊急連絡先調書

- 宿泊先を入力しました。
- 学生代表者の連絡先を入力しました。
- 引率教員の連絡先を入力しました。

## チーム紹介動画の登録

- 解像度は640×480ピクセル以上、1920×1080ピクセル以内にしました。
- 動画コーデックはH.264ビデオかMPEG-4ビデオのいずれかにしました。
- コンテナファイルの拡張子は\*.m4v, \*.mp4, \*.mov, \*.mpg, \*.wmvのいずれかにしました。
- ファイルサイズは100MB以内にしました。
- 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS付属のソフト(Windows 10なら「映画&テレビ」アプリ、Windows 7/8.1なら「Windows Media Player」アプリ、macOSな

ら「QuickTime Player」)で再生できることを確認しました。

## 高専プロコン

高 専

都道府県

課題 部門

発表順番号

梱包 No.

/

個中

※どこからでも確認できるよう、3面に貼り付けてください。

# 高専プロコン

高 専
-----

都道府県	
------	--

自由 部門	発表順番号
-------	-------

梱包 No.	/	個中
--------	---	----

※どこからでも確認できるように，3面に貼り付けてください。